



平成 25 年 9 月 3 日
独立行政法人国立科学博物館

セメダインC、世界初の蚊取線香など 22 件の「重要科学技術史資料（愛称：未来技術遺産）」の登録と登録証授与式について

独立行政法人国立科学博物館（館長：林 良博）は、「平成 20 年度から重要科学技術史資料（愛称：未来技術遺産）の登録を実施しています（別紙）。

平成 25 年度は、あらたに、世界最薄カード電卓カシオ SL-800、ダイレクト・ドライブ方式ターンテーブル、セメダインC、世界初の蚊取線香など、22 件の重要科学技術史資料を登録することとなりました。今回の登録により合計 135 件の登録となります。

このたび、今回登録される資料の所有者をお招きして、登録証及び記念盾の授与式と、パネル展示を下記のとおり開催します。

つきましては、ご広報いただきたくお願い申し上げます。

なお、授与式ご出席の際は、FAX または E-mail でご連絡くださいますようお願いいたします。

記

■「重要科学技術史資料」登録証及び記念盾授与式

期 日	平成 25 年 9 月 10 日（火）
会 場	国立科学博物館 日本館 4 階 大会議室 東京都台東区上野公園 7-20
次 第	14:00～ 受付 14:30 開式 国立科学博物館長挨拶 14:40 登録証及び記念盾授与 15:00 閉式（閉式後、集合写真撮影）

■パネル展示

期 日	9 月 10 日（火）～10 月 12 日（土）
会 場	国立科学博物館 日本館 1 階 センターホール (9 月 10 日のみ一部実物資料を展示。)

※ご希望の方には、登録資料のデジタル写真を提供します。(10 月末までご請求いただけます。)

本件についての問合せ

独立行政法人 国立科学博物館
産業技術史資料情報センター 担当：高江洲・亀井（参事）
〒305-0005 茨城県つくば市天久保 4-1-1 国立科学博物館 産業技術史資料情報センター
TEL: 029-853-8394(代表) FAX: 029-853-8492 E-mail: sts2006@kahaku.go.jp
<http://sts.kahaku.go.jp/>



重要科学技術史資料 一覧

番号	写真例	名称	所有者	製作年
第 00114 号		放送用 4 ヘッド可搬型多目的記録再生装置 SV7400B — どこでも使えるようになった放送局用ビデオ —	NHK 放送 博物館	1976
第 00115 号		日本最初期の計数形電子計算機 「TAC」 — 日本最初期の真空管式デジタルコンピューター —	東芝科学館	1959
第 00116 号		機械翻訳実験用計算機 KT-1 (Kyushu Translator-1) — 日・英・独 3 ヶ国語の機械翻訳実験用計算機 —	九州大学 大学院	1958～ 1959 頃
第 00117 号		塩化ビニール製造装置 (塩化ビニールテスト重合機 5000L 塩化ビニール重合機 塩化ビニール反応 1 号炉アセチレン発生器) — 量産初期の塩ビ樹脂製造装置 —	株式会社 カネカ	1950
第 00118 号		FANUC ROBOT MODEL1 — 大幅な低価格化で普及に貢献した産業用ロボット —	ファナック 株式会社	1977
第 00119 号		量産型カラーテレビ D-21WE — 日本最初期の量産型カラーテレビ —	東芝科学館	1960
第 00120 号		64700 kVA タービン発電機 (TAF-2P-64700kVA-3600rpm-HCH-13200V-60Hz-0.85pf) — 日本初の水素冷却発電機 —	株式会社東芝	1953
第 00121 号		カード電卓 カシオ SL-800 — 世界最薄カード電卓 —	カシオ計算機 株式会社	1983



番号	写真例	名称	所有者	製作年
第 00122 号	 ショルダーホン	<p>【 携帯電話 】</p> <p>(1) ショルダーホン<100 型> (NTT)</p> <p>(2) 携帯電話 (NTT) TZ-802B</p> <p>— 日本初の携帯電話 —</p>	株式会社 NTT ドコモ	(1)1985 (2)1987
第 00123 号		<p>岩室発電所 1 万馬力フランシス水車</p> <p>— 日本で初めて出力が 1 万馬力に達した国産フランシス水車 —</p>	㈱日立製作所 電力グループ	1915
第 00124 号		<p>FUJIX DS-X</p> <p>— 世界で初めて市販されたデジタルカメラ —</p>	富士フイルム 株式会社	1990
第 00125 号		<p>ベータ型炭化ケイ素粉末</p> <p>— 高性能ファインセラミックス材料 —</p>	イビデン 株式会社	1979
第 00126 号		<p>国産発電用 1 号ガスタービン</p> <p>— 日本初の発電用ガスタービン —</p>	独立行政法人 海上技術安全研究所	1949
第 00127 号		<p>ニトロセルロース系ラッカー・セルバ色見本帳 1953 版</p> <p>— 日本初のニトロセルロース系ラッカー —</p>	関西ペイント 株式会社	1953
第 00128 号		<p>セキスイハイムM1</p> <p>— 世界初の市場で成功したボックスユニット・プレハブ住宅 —</p>	積水化学工業 株式会社	1971
第 00129 号	 IBM 統計カード	<p>【 パンチカード 】</p> <p>(1) レミントン統計カード</p> <p>(2) I B M統計カード</p> <p>— 情報化時代の草分け —</p>	特種東海製紙 株式会社	(1)1938 (2)1945



番号	写真例	名称	所有者	製作年
第 00130 号	 製作命令簿(計 37 冊)	【 吸入瓦斯発動機関連資料一式 】 (1) 製作命令簿 (計 37 冊) (2) 吸入瓦斯発動機取扱書 (3) 吸入瓦斯発動機 営業目録 (4) 吸入瓦斯発動機 (カタログ) — 日本最初期のガスエンジン資料 —	ダイハツディーゼル 株式会社	(1)1907 ～1968 (2)1908 (3)1909 (4)1911
第 00131 号		ダイレクト・ドライブ方式ターンテーブル SP-10 — 世界初 ダイレクト・ドライブ方式ターンテーブル —	パナソニック 株式会社	1970
第 00132 号		さくら天然色フィルム — 日本初のカラーフィルム —	コニカミノルタ 株式会社	1941
第 00133 号		セメダインC — 日本初の合成接着剤 —	セメダイン 株式会社	1938
第 00134 号		張打式製綱機 — 日本現存最古のロープ製造機械 —	東京製綱織維ロープ 株式会社	1889～ 1892
第 00135 号	棒状蚊取線香  渦巻型蚊取線香  海外向けポスター 	【 世界初の除虫菊を含む蚊取線香 】 (1) 棒状蚊取線香「金鳥香」 (2) 渦巻型蚊取線香「金鳥の渦巻」 (3) 渦巻型蚊取線香 試作木型 (4) 機械式 手巻き用線香押し出し機 (5) 蚊取線香戦前の海外向けポスター群 (6) 「除虫菊栽培書」「日本の除虫菊」 (7) 木製線香突き — 世界初の除虫菊を含む蚊取線香 —	大日本除虫菊 株式会社	(1)1911 ～1914 (2)1919 ～1925 (3)1895 (4)明治 末期 (5)1930 ～1940 (6)1896 (7)1902



1. 重要科学技術史資料（未来技術遺産[※]）の登録制度とは

国立科学博物館では、「科学技術の発達史上重要な成果を示し、次世代に継承していく上で重要な意義を持つ科学技術史資料」及び「国民生活、経済、社会、文化の在り方に顕著な影響を与えた科学技術史資料」の保存と活用を図るために、関係する工業会及び学協会と協力して、調査研究活動を従来から行ってまいりました。これらの資料は、近年の科学技術の急速な発展、技術革新や産業構造の変化の中でその本来の意義が見失われ、急速に失われようとしています。国立科学博物館では、このような資料の保存を図るとともに、科学技術を担ってきた先人たちの経験を次世代に継承していくことを目的として、重要科学技術史資料の登録制度を平成20年度より実施しており、これまでに113件の資料を登録し、今回新たに22件の資料を登録いたします。

※未来技術遺産（愛称）：過去の科学技術史資料のうち未来へ引き継ぐべき遺産として名づけた愛称。

2. 登録制度の内容

- 台帳への登録及び登録証等の交付：国立科学博物館の『重要科学技術史資料登録台帳』に登録するとともに、所有者に国立科学博物館から重要科学技術史資料として登録されたことを示す登録証及び記念盾（別紙1参照）を交付します。
- 現状変更等の連絡：所有者から登録資料の移動・破損等の状況等について連絡を受け、資料の状況についてできる限り記録します。また、国立科学博物館から定期的に現状の確認を行うことなどによって、できるだけ多くの資料の散逸を防ぎます。
- 情報の公開：登録台帳を作成するとともに、国立科学博物館ホームページ上において、重要科学技術史資料に関する情報の公開を行います。（個人情報等は除く。）
- パネル展示の実施：重要科学技術史資料を紹介するパネル展示を行います。

3. 登録制度の特徴

国立科学博物館が行う重要科学技術史資料登録制度は、日本の全科学技術を対象とし、資料の保存とその活用を図ることを目的としています。

また、この活動は、国立科学博物館で平成9年以来行ってきた産業技術史資料の所在調査や、経常的に行われている科学技術史・産業技術史研究の成果を基盤として行われています。

さらに、重要科学技術史資料に登録されると、資料の保管場所等が変更されるつど、所有者は国立科学博物館にご連絡いただく一方、国立科学博物館では定期的に資料の状況を確認するなどのアフターケアを行います。



【参考】

1. 登録までの流れ（別紙2及び3参照）

今回の重要科学技術史資料の登録は、国立科学博物館で行っている産業技術史資料の所在調査によって得られた情報（平成24年度末現在、電子機械・化学工業など170分野、13,375件）の中から、具体的に接着剤技術・カラーフィルム技術・情報用紙技術といった21の個別の技術分野を選定して、技術の歴史的な経緯を整理する系統化研究を行ったうえで、登録候補として全22件を選出しました。その後、外部有識者によって構成される重要科学技術史資料登録委員会（委員長：末松安晴）における審議結果を踏まえて、最終決定に至りました。

2. 登録制度の今後について

国立科学博物館では、今後も引き続いて、アナログレコード技術・カラー印刷画紙技術・レーザーディスク技術等の個別の技術分野を対象に、継続して重要科学技術史資料の登録を行います。また、すでに登録された重要科学技術史資料については、資料の状況を定期的に確認いたします。

こうした活動を通じて、未来に残すべき科学技術史資料の保存をはかるとともに、広く一般に対して科学技術史資料についての理解を促進していきます。

3. 国立科学博物館 産業技術史資料情報センターとは

産業技術史資料情報センターは、技術分野ごとに関連する工業会と協力して、「産業技術史資料の所在調査」を行っています。また、産業技術と社会・経済・文化とのかかわりを研究する「技術の系統化研究」などの調査研究を行っています。

さらに産業技術史資料情報センターでは、重要科学技術史資料の登録制度を運営し、『重要科学技術史資料台帳』を作成するとともに、継続して登録された重要科学技術史資料のアフターケアを行います。

その他にも、産業技術系博物館と連携した活動や、産業技術史をテーマにした展示や学習支援活動を行っています。



重要科学技術史資料登録証



表

見本(裏)

所有者の氏名または名称	株式会社 東芝 執行役常務 電力流通・産業システム社長 北村秀夫
所有者の住所	東京都港区芝浦一丁目1番1号
資料の所在地	神奈川県横浜市鶴見区江ヶ崎町4番1号 東京電力株式会社 電気の史料館
受付または再交付の年月日	平成20年10月9日

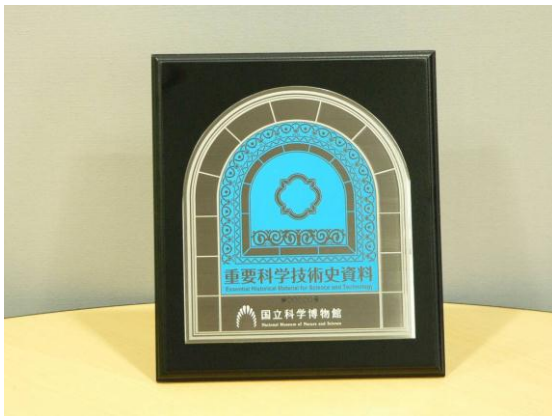
変更等年月日	変更等内容

備考

- 次の場合には、この登録証を添えて届けてください。
- 1 所有者が変わったとき。
 - 2 所有者の氏名もしくは名称又は住所を変更したとき。
 - 3 資料に破損・滅失、変更などがあった場合。

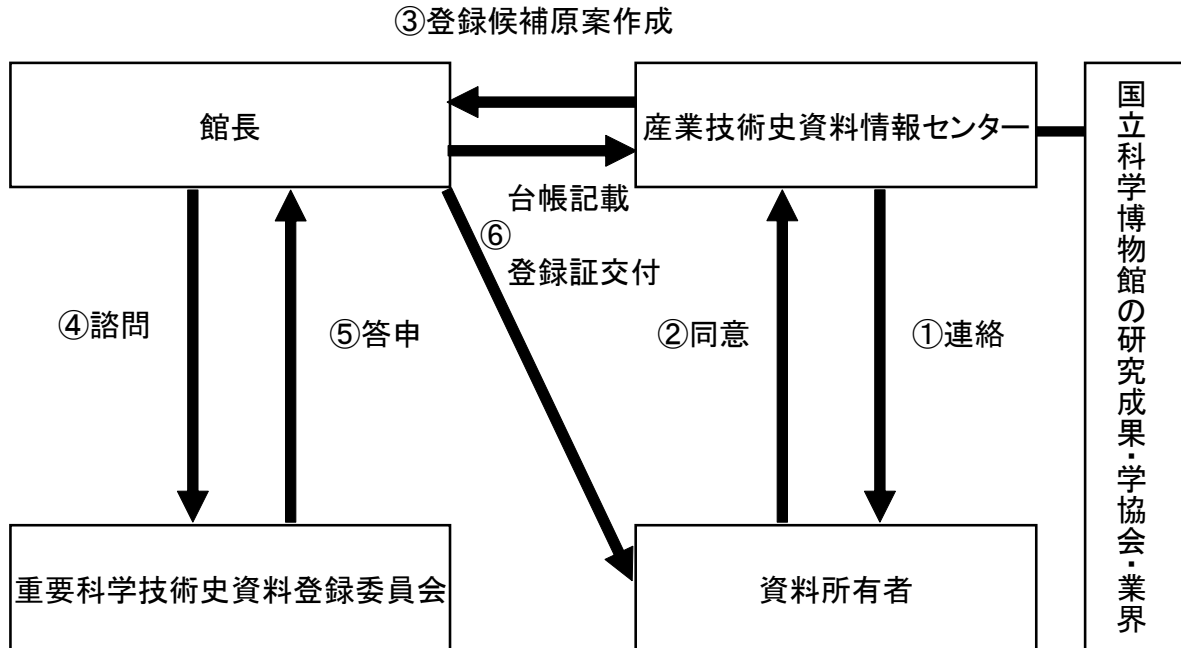
裏

記念盾





登録までの流れ



重要科学技術史資料登録委員会委員

大島まり	東京大学大学院情報学環／東京大学生産技術研究所	教授
小川明	一般社団法人 共同通信社	編集委員兼論説委員
川村恒明	公益財団法人 神奈川芸術文化財団	顧問
○ 末松安晴	公益財団法人 高柳健次郎財団	理事長
鈴木基之	東京工業大学	監事
柘植綾夫	公益財団法人 日本工学会	会長
寺西大三郎	一般財団法人 化学研究評価機構	顧問
橋本毅彦	東京大学大学院総合文化研究科	教授
原島文雄	首都大学東京	学長

○：委員長

平成 25 年 5 月現在



平成 20 年 2 月 8 日
館長裁定

○重要科学技術史資料の選定基準

- 一 科学技術（産業技術を含む。以下同じ。）の発達史上重要な成果を示し、次世代に継承していく上で重要な意義を持つもので、次の基準を満たすもの
 - イ 科学技術の発展の重要な側面及び段階を示すもの
 - ロ 国際的に見て日本の科学技術発展の独自性を示すもの
 - ハ 新たな科学技術分野の創造に寄与したもの
 - ニ 地域等の発展の観点から見て記念となるもの
 - ホ 試行錯誤、失敗の事例など科学技術の継承を図る上で重要な教育的価値を有すもの

- 二 国民生活、経済、社会、文化の在り方に顕著な影響を与えたもので、次の基準を満たすもの
 - イ 国民生活の発展、新たな生活様式の創出に顕著な役割を果たしたもの
 - ロ 日本経済の発展と国際的地位の向上に一時代を画するような顕著な貢献のあったもの
 - ハ 社会、文化と科学技術の関わりにおいて重要な事象を示すもの

FAX 送信票

9月10日（火）授与式出席の件

独立行政法人国立科学博物館産業技術史資料情報センター 行

To: FAX 029-853-8492

※手数料をおかけいたしますが、下記項目にご記入の上、
9月6日（金）までにFAXまたはE-mailにてご送信くださいますようお願い申
し上げます。

〔授与式取材者〕

貴社名 _____

ご芳名 _____ (計 人)

Email _____

TEL _____

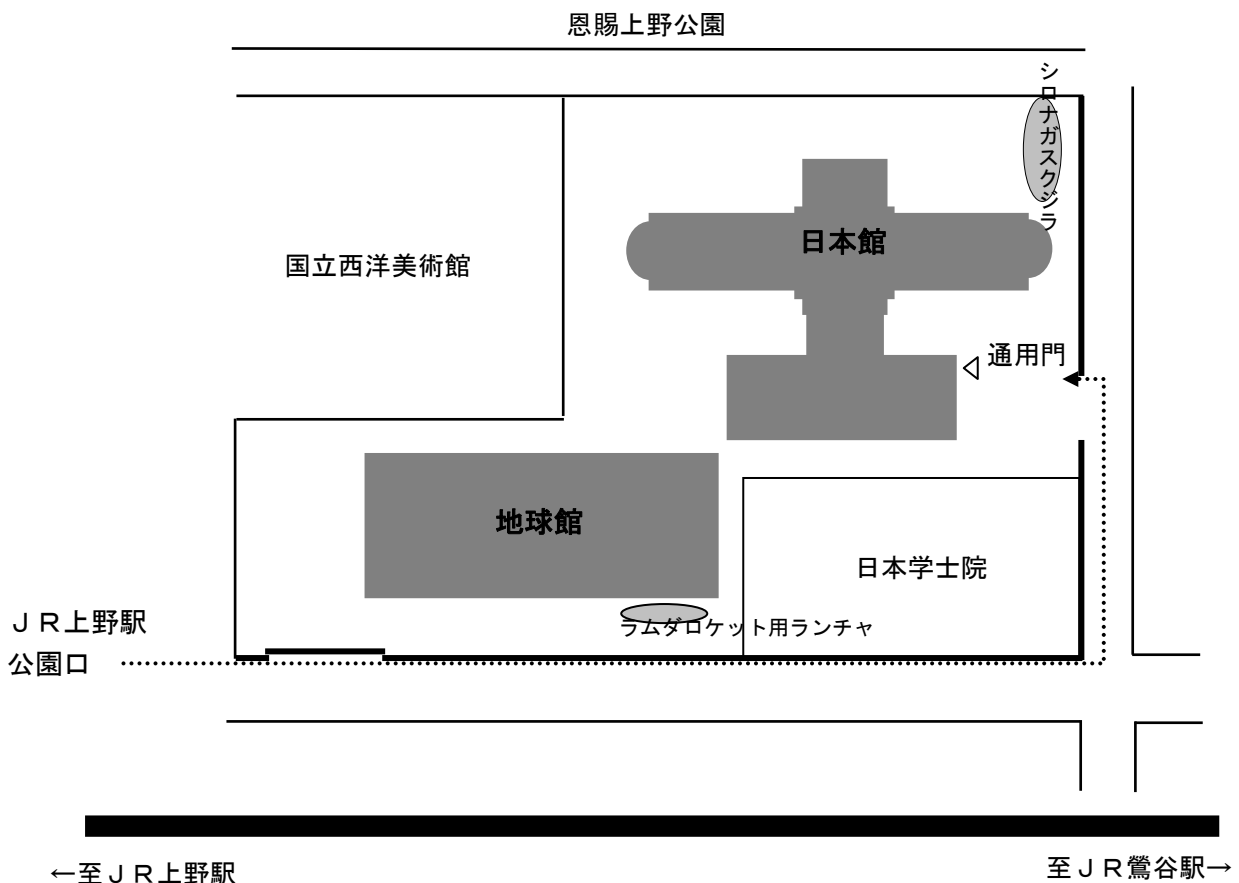
FAX _____

※今後、当センターのご案内をメール等で差し上げてよろしいでしょうか？

はい いいえ

「重要科学技術史資料」登録証及び記念盾授与式 案内図

- 期 日 平成 25 年 9 月 10 日 (火)
- 会 場 国立科学博物館 日本館 4 階 大会議室
【東京都台東区上野公園 7-20】
- 当日電話 03-3822-0111 (大代表)
- 次 第 14:00～ 受付
14:30 開式
15:00 閉式



【国立科学博物館までのアクセス】

- JR「上野」駅公園口から徒歩5分
- 東京メトロ銀座線・日比谷線「上野」駅から徒歩10分
- 京成線「京成上野」駅から徒歩10分
- ※駐車場の用意はございません。